

第11期 日韓理工系学部予備教育コース

村 上 京 子

第11期日韓理工系学部予備教育コースは、平成22年10月8日から23年3月2日までの6か月（実質18週）間、7名の学生を対象に開講された。このコースは、工学部入学後の勉学や生活に支障のないよう、日本語運用および専門基礎能力を養成することを目的に行われる。日本語に関しては、日常生活に必要な会話練習のほか、科学読み物を読む、レポートを書く、講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習を行う。また、全学教養科目「留学生と日本—異文化をととしての日本理解—」や「日本事情」の授業を通じて日本文化に対する理解を深めることも目標とする。専門基礎教育に関しては、工学部教員を中心に物理・化学・数学に関して授業が行われた。

日 程

- 10月8日(金) 開講式・日本語診断試験
- 10月12日(火) 日本語オリエンテーション
- 10月13日(水) 授業開始
- 10月27日(水) バス旅行
- 12月23日(木)～1月10日(月) 冬休み期間
- 2月1日(火) 工学部入試のため休講
- 2月22日(火) レポート発表会
- 2月23日(水) 修了試験
- 2月28日(月) バス旅行
- 3月2日(水) 閉講式

科目別時間および担当者・内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	13	420	留学生センター教員・謝金講師5名	会話練習・聴解・文法・読解・作文
専門科目	3	108	工学部教員・謝金講師3名	物理・化学・数学
日本事情	1	36	留学生センター教員・謝金講師1名	ビデオ・新聞等を使った日本事情
全学教養科目	1	30	留学生センター教員	日本人学生との合同クラス

教室：工学部5号館2階 229号室

時間割

	1限	2限	3限	4限
	8:45-10:15	10:30-12:00	13:00-14:30	14:45-16:15
月	作文	教養科目 (留学生と日本)	専門科目	会話・練習
担当	村上			服部
火	聴解	読解	専門科目	
担当	許	許		
水	聴解	NUPACE/ OL語彙・読解	会話・練習	応用会話
担当	服部	留セ	田中	田中
木	文法	聴解	専門科目	会話・練習
担当	李 澤熊	国澤		李 賢珠
金	漢字・語彙	日本事情	OL 作文	OL 聴解
担当	全	全	留セ	留セ

基本テキスト

- 会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」
名古屋大学出版会
- 聴解：「現代日本語コース中級 Web 聴解Ⅰ，Ⅱ」
CD、Web 版
- 読解：「大学・大学院 留学生の日本語 読解編」
アルク
- 作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」
スリーエーネットワーク
- 漢字：「KANJI IN CONTEXT 中・上級学習者のための漢字と語彙」The Japan Times

本コース学生受け入れに関して6月29日に、工学部・留学生センター・国際課（事務）の3者によるワーキンググループを立ち上げ、協議を行った。時間割の調整、開講期間など取り決め、緊密に連絡を取りながらコースを進めていくことになった。

来日直後、毎年実施している診断テストを行った。7名の成績はある程度ばらつきはあるもののこれまで受け入れてきた学習者の範囲に収まることから、予定通りのカリキュラムで実施していくことにした。1名病気で休みがちな学生がおり、やや習得の遅れが見られたが、病院医師との協議で帰国させずに治療をし

ながら通学させることにした。

例年と同様、各自が選んだテーマで資料を収集し、レポートを作成した。2月22日に工学部教員も招いて、その発表会を実施した。レポートのテーマは、「地下鉄の自動改札システム」「幹細胞の理解」「無線充電システム」「超ひも理論」「LEDについて」「ゲーム産業」「医療用ロボット」であった。発表後、工学部教員や日本語担当教員、先輩学生などから多くの質問・意

見が出され、各自真剣に答えていた。この経験は学習者にとって今後の勉学に取り組む上での自信にもつながり、貴重な体験となったと考えられる。

修了試験の結果、病気で欠席の日立った学生を除いては十分な成績を治め、来日時と比較して大きく向上していた。遅れが目立つ1名については、特に漢字・語彙に問題が見られたため、学部入学後も引き続き指導していくことにした。